



平成22年9月2日

# 救急医療週間の実施について

— 9月9日は「救急の日」 —

救急医療週間は、救急医療と救急業務に対する都民の皆様の正しい理解と認識を深め、救急医療関係者の意識を高めることを目的に、毎年9月9日を含む日曜日から土曜日までの1週間に行っています。

本年も、9月9日（木）の「救急の日」や、9月5日（日）から9月11日（土）までの「救急医療週間」を中心に、東京消防庁救急相談センターの周知を端緒として救急業務への理解を高め、更に、応急手当技能の普及並びに応急手当の実施に対する意識の高揚を図るために、平成22年度東京消防庁救急セミナー（開催地：東久留米市）をはじめとする行事を実施いたします。

## 1 救急医療週間

平成22年9月5日（日）から9月11日（土）まで

## 2 推進事項

東京消防庁では、広く都民に対して「東京消防庁救急相談センターの周知及び利用促進」とともに、「応急手当技能を身につけ、応急手当を行うことの重要性」、「救急車の適正利用」を呼びかけていきます。

### (1) 東京消防庁救急相談センターの周知及び利用促進

東京消防庁救急相談センター（以下「救急相談センター」という。）は、本年6月1日で開設4年目を迎えました。業務開始以来3年間に、約87万1千件の電話を受付け、約72万1千人の医療機関案内（※1）と約12万9千件の救急相談（※2）を行い、急な病気やけがで判断に迷う都民に安心を提供するとともに、救急搬送された傷病者の軽症の割合が低下するなど、救急車の適正利用等に関しても成果をあげています。（別紙1-1から1-3）

一方、救急相談センターの都民への周知率は、いまだ33.1%（平成22年消防に関する世論調査）にとどまっていることから、「救急の日」及び「救急医療週間」の機会を捉え、都民が救急車の利用について判断に迷う場合、又は、診療可能な医療機関が知りたい場合や応急手当に関するアドバイスを受けたい場合などに利用してもらえるように、救急医療週間に消防署で行う行事やポスターの掲示等を通じて、より一層の周知及び利用促進を図ることで、真に救急車を必要とする傷病者を一刻も早く救護することができるよう、あらゆる機会を通じた広報活動を集中的か

つ強力に推進していきます。

なお、平成21年中の救急相談センターの受付状況等については、別紙2-1から2-3、救急医療週間前後の主な救急相談センター広報行事予定は別紙3のとおりです。

## (2) 応急手当の普及啓発の推進

心肺停止状態に陥った傷病者を救命するためには、現場に居合わせた人（バイスタンダー）による応急手当の実施が極めて重要です。東京消防庁では、都民参加のもと大規模な応急手当の講習(※)を実施するほか、各消防署において応急手当の講習会やイベントが開催され、広く都民に対し応急手当を積極的に実施できるよう普及、啓発します。

### (※)平成22年度東京消防庁救急セミナー

普通救命講習、普通救命再講習、上級救命再講習、【参加対象者909名】を開催いたします。

エックス

なお、当日はスポーツX（積極的な社会貢献を目指すスポーツ選手団体、代表：プロレスラー蝶野正洋氏）から、アスリートの方々が応援参加されます。

- ・ 11時00分から12時00分 飯田 覚士さん（元プロボクサー）など
- ・ 14時00分から16時00分 蝶野 正洋さん（プロレスラー）など

#### 開催日時

平成22年9月9日（木）9時15分から17時00分

#### ● 場所

東久留米市スポーツセンター（東久留米市大門町2丁目14番37号）

詳細は、別紙4を参照してください。

バイスタンダーの応急手当の実施状況とその効果について別紙5-1から5-4に示します。

#### ア 別紙5-1の解説

平成21年中に全心停止傷病者搬送人員12,129人の発生場所別の応急手当の実施状況は、別紙5-1のとおりです。

公衆の出入りする場所での応急手当の実施状況を見ると、駅では177人の心停止傷病者が発生し、そのうち79名（44.6%）の人に対して応急手当が実施されています。運動場や体育館では34人の心停止傷病者が発生していますが、31名（91.2%）の人に対して応急手当が行われています。

一方、搬送人員の72%を占める住宅では、8,757名の心停止傷病者が発生し、そのうち1,635名（18.7%）に対して応急手当が行われています。昨年に比較し4ポイント向上しているものの、一般道路よりも低くなっており、住宅は決して安全な場所とは言えない状況であり、応急手当の実施率向上が望まれるところです。

#### イ 別紙5-2の解説

平成21年中、都民の目の前で卒倒するなど都民等が心停止の発症を目撃した

傷病者は3,309人で、バイスタンダーによる応急手当（心停止傷病者に対して有効な手当＝人工呼吸・胸骨圧迫・AED等による除細動処置に限定）の実施状況は、図1、表1のとおりです。

都民等により心肺蘇生法等の応急手当が行われていたのは1,541人（46.6%）でした。このうち救急隊が医療機関に傷病者を収容するまでに呼吸又は脈が回復した傷病者は289人（18.8%）で、応急手当が行われていなかった場合と比較すると、5.3ポイント高い結果になっています。

また、心停止の目撃があった場合は応急手当の実施の有無により、1ヶ月生存率に約2.2倍の差が生じています。

#### ウ 別紙5-3の解説

平成21年中の都民等のAEDによる除細動実施人数（速報値）は120人で、その内68人（56.7%）が病院到着前に呼吸や脈拍の回復がありました。過去3年を比較すると、都民による除細動実施件数とともに、呼吸、脈拍の回復する傷病者数の増加が認められます。また、前イのバイスタンダーにより応急手当が行われた場合の回復率と比較し、約3倍の高い効果が認められています。

#### エ 別紙5-4の解説

心停止した傷病者を救命するためには、「早い119番通報」「早い心肺蘇生」「早い除細動」「早い2次救命処置」の4つが連続して行われることが必要です。この4つのうちどれか一つでも途切れてしまえば、救命効果は低下します。

カーラーの救命曲線は、心臓停止など緊急事態における経過時間と死亡率の関係を示したものです。心停止では3分間放置されると死亡率が約50%になります。（①曲線）

平成21年中の東京消防庁管轄区域内の救急出場件数は、655,631件で、48秒に1回の割合で出場しています。また、救急車が現場に到着するまでに、平均で6分18秒かかっています。一人の尊い命を救うためには、バイスタンダーによる早い通報、早い心肺蘇生、早い除細動、救急隊や消防隊、医療機関で処置をする医師、看護師、検査技師など多くの人の力が一つにつながる必要がありますが、とりわけ、バイスタンダーにより、救急隊が到着するまでに行われる応急手当がいかに重要かを示しています。

### (2) 救急車の適正利用の促進

救急車の到着が遅れると、救える命が救えなくなる可能性があります。東京消防庁では「本当に救急車を必要としている声に応える」ため、救急車は緊急性がある時に利用するよう適正利用を呼びかけています。

#### ア 東京民間救急コールセンター利用促進の広報推進

東京消防庁では、「緊急ではないけれど交通手段がない！」このようなときは東京民間救急コールセンターを利用するよう、働きかけています。東京民間救急コールセンターでは患者さんの都合に合わせて、寝台（ストレッチャー）や車椅子のまま搬送する民間救急車と、ご自分で歩行可能な方を搬送するサポートCab（救命講習を修了した運転手が乗務するタクシー）を案内しています。（搬送費用は有料です。）また、効果的な運用を図るため、地区医師会、救急医療機関等の関係機関及び都民に対して緊急性がない転院搬送、通院及び入退院には、民間救急、タクシー等を利用するよう理解と協力を求めています。

## イ 救急搬送トリアージの実施

救急隊が傷病者を観察し、緊急性が認められない場合には、救急車で傷病者を搬送しない救急搬送トリアージを実施しています。

### 3 応急手当普及啓発用ポスターについて

- (1) 絵柄  
別添えのとおり
- (2) キャッチコピー  
「覚えよう 命をつなぐ 応急手当」(平成22年度東京消防庁救急標語)  
(作成者 塩野 竜司さん 北区)
- (3) 目的  
「救急の日」及び「救急医療週間」にあたり、応急手当を覚え、互いに助け合う社会をつくることの尊さを訴えることにより、都民の応急手当に関わる意識の高揚を図ることを目的としています。

### 4 その他

- (1) 救急相談センター広報行事の取材について  
救急相談センター広報行事の取材を希望される場合は、当日、各広報行事会場の集合場所において、事前レクチャー開始時間までに、社名、人数及び氏名をご連絡ください。(別紙3参照)
- (2) 東京消防庁救急セミナーの取材について  
ア 東京消防庁救急セミナー当日の取材を希望される場合は、平成22年9月7日(火)17時00分までに、FAXにて広報課報道係に、社名、人数及び氏名をご連絡ください。(別紙4参照)  
イ 平成22年度東京消防庁救急セミナー当日は、13時20分より事前レクチャーを実施しますので、正面入口の記者受付を経て、「記者控室(場所は受付でご案内いたします。)」にお集まりください。
- (3) その他  
ア 各行事会場に駐車場はありませんのでご了承ください。  
イ 取材の際は、自社腕章の着用をお願いします。

## 用語の解説

- ※1 医療機関案内・・・各医療機関からの最新の診察情報をもとに、最寄りの診察可能な医療機関を案内しています。
- ※2 救急相談・・・相談者の症状により、救急相談看護師が救急相談医師の助言を受けて、医療機関受診の必要性の有無や必要により救急車での受診をすすめるなどしています。

## 問い合わせ先

|            |              |
|------------|--------------|
| 東京消防庁(代)   | 電話 3212-2111 |
| 救急医務課業務係   | 内線 4505~4508 |
| 救急指導課救急普及係 | 内線 4625~4626 |
| 広報課報道係     | 内線 2345~2350 |

## ■東京消防庁救急相談センター

急な病気やケガをした場合に、「救急車を呼んだほうがいいのかな?」、「今すぐ病院に行ったほうがいいのかな?」など迷った際の相談窓口として、「東京消防庁救急相談センター」を開設しています。

東京消防庁救急相談センターでは、これらの相談に、相談医療チーム（医師、看護師、救急隊経験者等の職員）が、24 時間年中無休で対応しています。

**東京消防庁救急相談センター電話番号 # 7 1 1 9** (携帯電話・PHS・プッシュ回線)

その他の電話、またはつながらない地域の場合は……

|      |                         |
|------|-------------------------|
| 2 3区 | 0 3 ( 3 2 1 2 ) 2 3 2 3 |
| 多摩地区 | 0 4 2 ( 5 2 1 ) 2 3 2 3 |



### ・その他の医療機関案内について

医療機関案内については、前記の救急相談センターのほかに、下記の機関でも同様のサービス行っています。

- 最寄りの消防署や消防分署、消防出張所
- 東京消防庁ホームページ
- 東京都医療機関案内サービス(通称：ひまわり 電話番号：03-5272-0303)

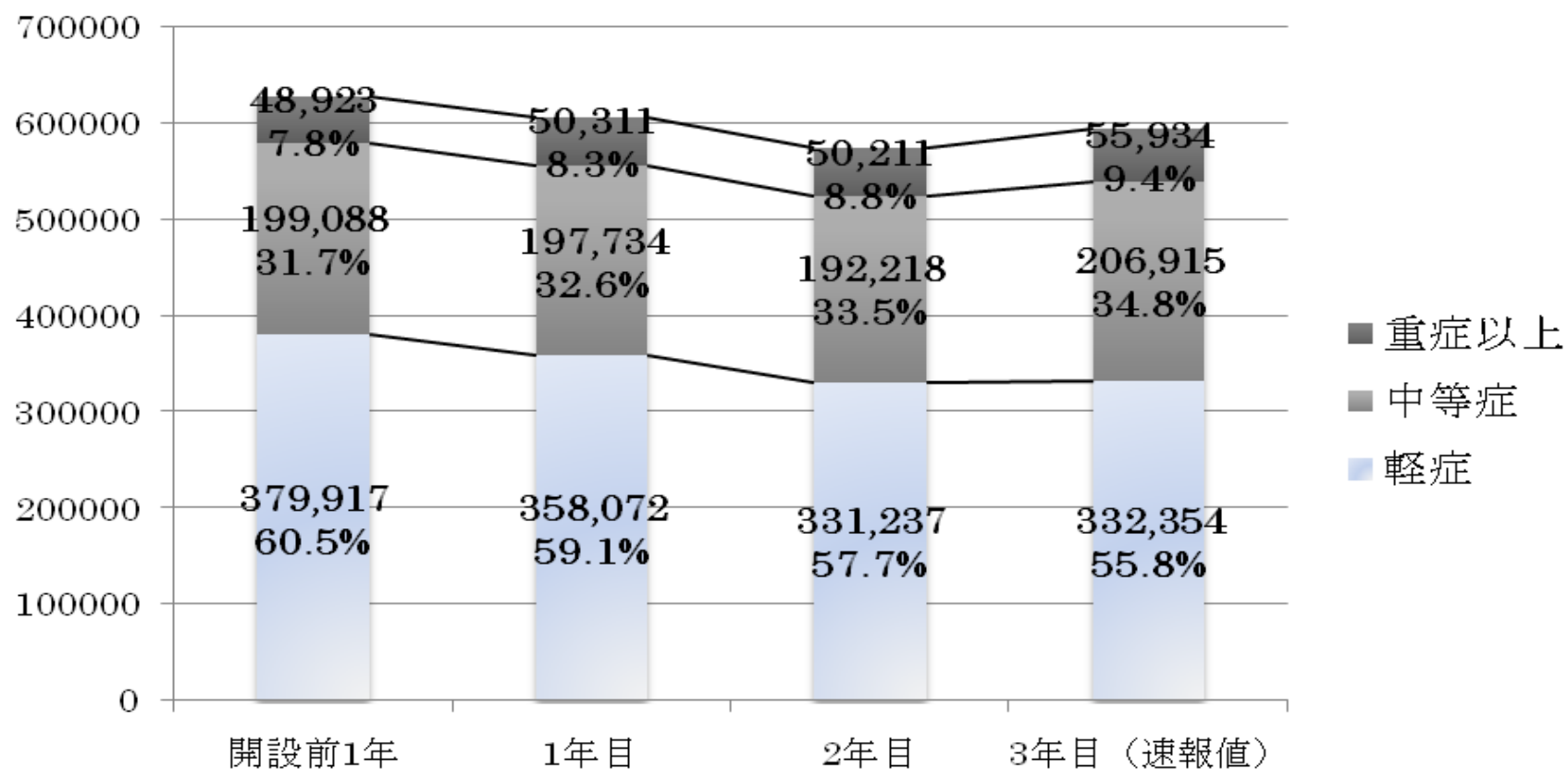
他にも、区市町村によっては、独自に夜間・休日診療体制を実施している区域もあります。区報・市報又はそのホームページ等でお知らせしていますので、あらかじめ休日診療病院等の所在地・道順・電話番号などを確認しておきましょう。

東京消防庁救急相談センター運用開始から3年間の受付状況等(速報値)

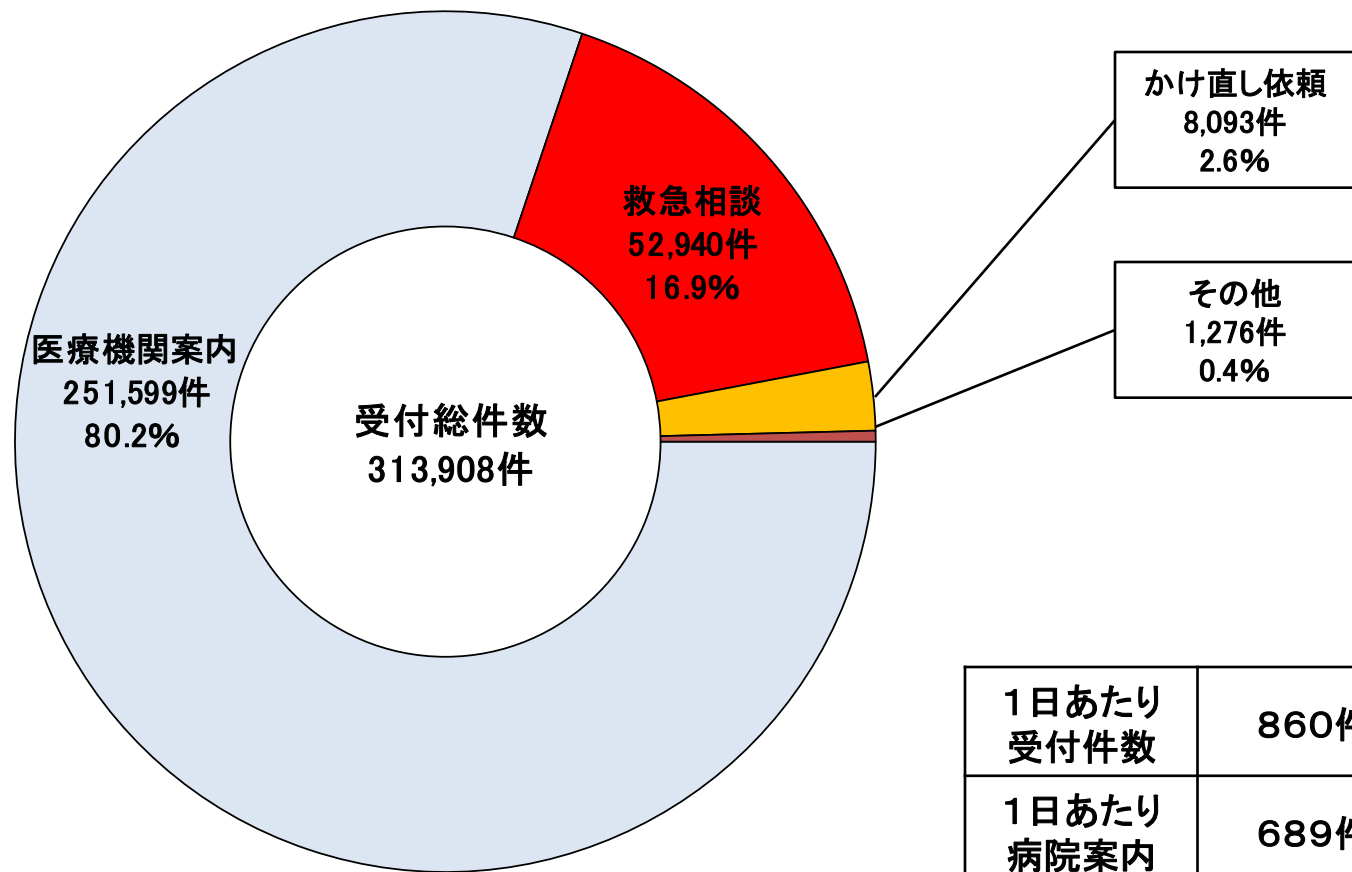
| 期間区分                               | 総受付     | 医療機関案内  | 救急相談    | 救急相談   |       | 相談前<br>救急要請 | *かけ直し依頼 | その他   | 救急搬送人員に<br>占める<br>軽症割合 |
|------------------------------------|---------|---------|---------|--------|-------|-------------|---------|-------|------------------------|
|                                    |         |         |         | 救急要請   | 中等症以上 |             |         |       |                        |
| 運用開始前1年<br>平成18年6月1日～平成19年5月31日    | -       | -       | -       | -      | -     | -           | -       | -     | 60.5%                  |
|                                    | -       | -       | -       | -      | -     | -           | -       | -     |                        |
| 1年目<br>平成19年6月1日～平成20年5月31日        | 268,094 | 238,388 | 26,138  | 3,344  | 1,000 | 643         | 2,907   | 18    | 59.1%                  |
|                                    | 732.5/日 | 651.3/日 | 71.4/日  | 9.1/日  | 2.7/日 | 1.8/日       | 7.9/日   | 0.0/日 |                        |
| 2年目<br>平成20年6月1日～平成21年5月31日        | 292,269 | 242,379 | 42,041  | 5,477  | 1,768 | 1,179       | 6,653   | 17    | 57.7%                  |
|                                    | 800.7/日 | 664.1/日 | 115.2/日 | 15.0/日 | 4.8/日 | 3.2/日       | 18.2/日  | 0.0/日 |                        |
| 3年目(速報値)<br>平成21年6月1日～平成22年5月31日   | 310,582 | 240,227 | 60,662  | 6,947  | 2,522 | 1,552       | 8,122   | 19    | 55.8%                  |
|                                    | 850.9/日 | 658.2/日 | 166.2/日 | 19.0/日 | 6.9/日 | 4.3/日       | 22.3/日  | 0.1/日 |                        |
| 3年間累計(速報値)<br>平成19年6月1日～平成22年5月31日 | 870,945 | 720,994 | 128,841 | 15,768 | 5,290 | 3,374       | 17,682  | 54    | -                      |
|                                    | 794.7/日 | 657.8/日 | 117.6/日 | 14.4/日 | 4.8/日 | 3.1/日       | 16.1/日  | 0.0/日 |                        |

\*かけ直し依頼: 電話がつながり、救急相談を希望したが、看護師が全て相談中で対応できないことから、電話をかけ直すよう依頼したもの。

救急相談センター運用開始1年前から3年目までの初診時程度別割合の推移



東京消防庁救急相談センターの受付状況（平成21年中）

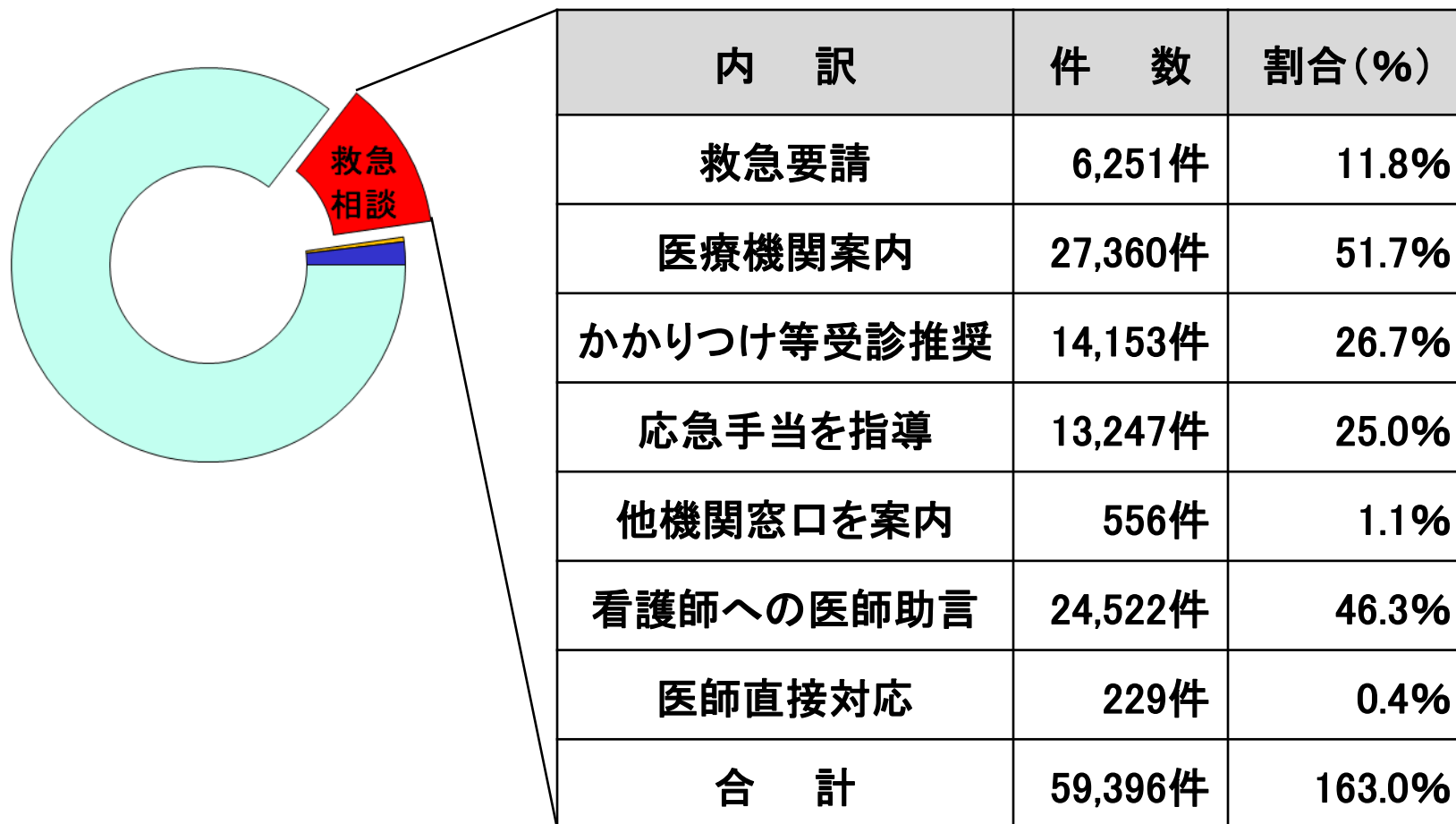


|               |      |
|---------------|------|
| 1日あたり<br>受付件数 | 860件 |
| 1日あたり<br>病院案内 | 689件 |
| 1日あたり<br>救急相談 | 145件 |

注 「かけ直し依頼」とは、看護師が対応中のため、利用者に対してかけ直すように依頼した事案をいう。



## 救急相談内容の内訳（平成21年中）



注 重複あり

## 主な救急相談の内容（平成21年中）

| No | 内 訳          | 件 数    | 割合<br>(%) | No | 内 訳            | 件数     | 割合<br>(%) |
|----|--------------|--------|-----------|----|----------------|--------|-----------|
| 1  | 発熱<br>(小児)   | 7,606件 | 14.4%     | 6  | めまい<br>ふらつき    | 1,844件 | 3.5%      |
| 2  | 頭部外傷<br>(小児) | 2,817件 | 5.3%      | 7  | 異物誤飲           | 1,721件 | 3.3%      |
| 3  | 発熱           | 2,473件 | 4.7%      | 8  | 嘔吐・吐き気<br>(小児) | 1,628件 | 3.1%      |
| 4  | 腹痛           | 2,385件 | 4.5%      | 9  | 嘔吐・吐き気         | 1,529件 | 2.9%      |
| 5  | 頭痛           | 2,086件 | 3.9%      | 10 | 過量服薬           | 1,141件 | 2.2%      |

### 救急医療週間前後の主な東京消防庁救急相談センター広報行事予定

| 実施日  |   | 実施時間                 | 行事名             | 会場名                | 実施場所        | 主な内容  | 参加<br>予想<br>人員 | 担当<br>消防<br>署 | 記者対応者                 | 集合場所           | 事前レク<br>開始時間 | 管理職<br>出向  |
|------|---|----------------------|-----------------|--------------------|-------------|---|----------------|---------------|-----------------------|----------------|--------------|------------|
| 9月4日 | 土 | 12時30分から<br>15時30分まで | 防災・救急フェア        | 松屋通り               | 中央区銀座3-6    | <ul style="list-style-type: none"> <li>リーフレット等配布</li> <li>応急救護</li> <li>救急相談</li> <li>起震車体験等</li> </ul> | 2,000          | 京橋            | 救急係長<br>下山 清明         | 会場内救急<br>普及車の前 | 12時15分       | 救急<br>医務課長 |
| 9月9日 | 木 | 9時00分から<br>11時30分まで  | 高岩寺における<br>広報活動 | 高岩寺境内<br>(とげぬき地藏尊) | 豊島区巢鴨3-35-2 | <ul style="list-style-type: none"> <li>リーフレット等配布</li> <li>応急救護</li> <li>救急活動演技</li> </ul>               | 300            | 豊島            | 救急技術担当<br>係長<br>古木 康友 | 高岩寺境内<br>テントの前 | 8時45分        | 救急部長       |

# 平成22年度東京消防庁救急セミナー

## ■開催日時

平成22年9月9日(木) 9時15分～17時00分

## ■場所

東久留米市スポーツセンター  
東久留米市大門町2-14-37

## ■開催目的

平成22年度東京消防庁救急セミナーを開催します。

## ■実施内容

救急セミナーでは普通救命講習、普通救命再講習及び上級救命再講習を実施し、参加者にAEDを含めた心肺蘇生をはじめとする応急手当を習得、維持することの重要性を理解していただく内容とします。

## ■主催等

主催：東京消防庁、協賛：公益財団法人東京救急協会、後援：東京都応急手当普及推進協議会

## ■参加者等

一般都民、東京都応急手当普及推進協議会参画団体、午前、午後あわせて909名を対象とします。

## ■教材費(テキスト、レサコ)

普通救命講習1,400円、普通救命再講習1,200円、上級救命再講習1,600円

## ■指導員等

東京消防庁、東京救急協会、消防団及び災害時支援ボランティアの応急手当指導員及び普及員から公募

## ■その他

特殊消防車両(スーパーアンビュランス他1車両)、救急広報(東京消防庁救急相談センター等)展示

## 東久留米市スポーツセンター



## カリキュラム(予定)

### 応急手当の重要性

#### 応急手当の必要性

- ① 救急車到着までの救命処置の必要性
- ② 救命の連鎖(チェーン・オブ・サバイバル)の重要性
- ③ 自主救護の必要性
- ④ 他人を救おうとする社会が自分を救う

### 心肺蘇生(成人)



### AEDによる除細動



### 気道異物除去



### 止血法



小児・乳児  
に対する  
心肺蘇生

包帯法  
骨折の応急  
手当

傷病者管理  
搬送法

上級救命  
再受講者

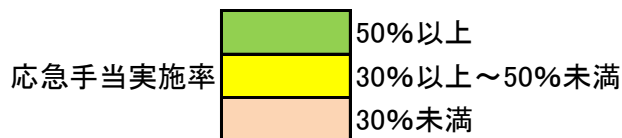
再講習受講者

確認テスト  
実技・ペーパー

午前の部 9:15～12:30  
午後の部 14:00～17:00

発生場所別心停止目撃・応急手当実施状況(※1)

| 発生場所             |                 | 平成20年中 |         |                     |          | 平成21年中 |         |                     |          | 概要  |
|------------------|-----------------|--------|---------|---------------------|----------|--------|---------|---------------------|----------|-----|
|                  |                 | 搬送人員   | 心停止目撃※2 | 応急手当(胸骨圧迫・人工呼吸・除細動) |          | 搬送人員   | 心停止目撃※2 | 応急手当(胸骨圧迫・人工呼吸・除細動) |          |     |
|                  |                 | a      | b       | c                   | 実施率(c/a) | a      | b       | c                   | 実施率(c/a) |     |
| 居住介護<br>宿泊施設     | 住宅(専用・共同・寮・寄宿舍) | 8,807  | 2,517   | 1,293               | 14.7%    | 8,757  | 2,445   | 1,635               | 18.7%    |     |
|                  | 自助施設・グループホーム等   |        |         |                     |          | 76     | 44      | 45                  | 59.2%    | 発生率 |
|                  | 特別養護老人ホーム       | 997    | 366     | 581                 | 58.3%    | 736    | 289     | 419                 | 56.9%    | 発生率 |
|                  | 老人施設(特養以外)      |        |         |                     |          | 336    | 156     | 198                 | 58.9%    | 発生率 |
|                  | ホテル・旅館・簡易宿泊所    | 80     | 27      | 14                  | 17.5%    | 76     | 22      | 15                  | 19.7%    | 不特定 |
| 会社<br>工場等        | 会社・オフィス         | 144    | 61      | 35                  | 24.3%    | 122    | 59      | 34                  | 27.9%    |     |
|                  | 工場・製造所・作業場      | 2      | 2       | 2                   | 100.0%   | 39     | 11      | 12                  | 30.8%    |     |
|                  | その他仕事場業態の場所     |        |         |                     |          | 19     | 10      | 6                   | 31.6%    |     |
| 販売・サービス業施設       |                 | 188    | 114     | 45                  | 23.9%    | 256    | 160     | 70                  | 27.3%    | 不特定 |
| 娯楽・遊戯施設          |                 | 45     | 26      | 7                   | 15.6%    | 59     | 33      | 22                  | 37.3%    |     |
| 健康・保養・美容施設       |                 | 65     | 20      | 26                  | 40.0%    | 63     | 24      | 24                  | 38.1%    |     |
| 医療等<br>施設        | 病院              | 75     | 44      | 44                  | 58.7%    | 75     | 47      | 55                  | 73.3%    |     |
|                  | 診療所・クリニック・医院    | 68     | 63      | 50                  | 73.5%    | 81     | 63      | 58                  | 71.6%    |     |
|                  | 助産所・鍼灸院・接骨院等    | 0      | 0       | 0                   | 0.0%     | 4      | 2       | 0                   | 0.0%     |     |
| 育児児童施設・学校        |                 | 34     | 17      | 18                  | 52.9%    | 27     | 20      | 15                  | 55.6%    | 公共性 |
| 芸術・文化施設          |                 | 26     | 21      | 6                   | 23.1%    | 24     | 14      | 15                  | 62.5%    | 大規模 |
| 運動施設             |                 | 39     | 30      | 26                  | 66.7%    | 34     | 27      | 31                  | 91.2%    | 発生率 |
| 公園・遊園地等          |                 | 183    | 30      | 20                  | 10.9%    | 88     | 20      | 13                  | 14.8%    |     |
| 宗教施設・斎場等         |                 | 22     | 9       | 6                   | 27.3%    | 31     | 19      | 14                  | 45.2%    |     |
| 官公庁・行政施設         |                 | 36     | 17      | 13                  | 36.1%    | 28     | 19      | 14                  | 50.0%    | 公共性 |
| 道路<br>車両<br>交通施設 | 線路・軌道敷          | 39     | 7       | 1                   | 2.6%     | 57     | 27      | 8                   | 14.0%    |     |
|                  | 駅               | 209    | 116     | 89                  | 42.6%    | 177    | 99      | 79                  | 44.6%    | 公共性 |
|                  | 空港              | 8      | 8       | 7                   | 87.5%    | 4      | 3       | 3                   | 75.0%    | 公共性 |
|                  | 港               | 0      | 0       | 0                   | 0.0%     | 1      | 0       | 0                   | 0.0%     | 公共性 |
|                  | 駐車場・駐輪場         | 57     | 15      | 8                   | 14.0%    | 58     | 24      | 9                   | 15.5%    |     |
|                  | 一般道路            | 726    | 311     | 110                 | 15.2%    | 710    | 337     | 166                 | 23.4%    |     |
| 高速道路・自動車専用道路     |                 | 15     | 8       | 4                   | 26.7%    | 13     | 6       | 4                   | 30.8%    |     |
| 自然環境<br>土地       | 農地(田・畑)         | 6      | 3       | 3                   | 50.0%    | 3      | 1       | 0                   | 0.0%     |     |
|                  | 山林              | 0      | 0       | 0                   | 0.0%     | 6      | 3       | 1                   | 16.7%    |     |
|                  | 河川・水路           | 0      | 0       | 0                   | 0.0%     | 68     | 14      | 11                  | 16.2%    |     |
|                  | 湖沼等             | 0      | 0       | 0                   | 0.0%     | 2      | 0       | 0                   | 0.0%     |     |
|                  | 海               | 9      | 0       | 3                   | 33.3%    | 8      | 1       | 2                   | 25.0%    |     |
|                  | その他自然環境・土地      |        |         |                     |          | 15     | 4       | 3                   | 20.0%    |     |
| 建築・工事現場          |                 | 54     | 28      | 14                  | 25.9%    | 36     | 13      | 7                   | 19.4%    |     |
| 分類不明             |                 | 87     | 44      | 16                  | 18.4%    | 40     | 16      | 13                  | 32.5%    |     |
| 総計               |                 | 12,021 | 3,904   | 2,441               | 20.3%    | 12,129 | 4,032   | 3,001               | 24.7%    |     |



※1 平成21年度から新システムの運用が開始されたため、発生場所については平成20年の統計を平成21年に合わせた。

※2 心停止目撃は、市民目撃及び隊員目撃の合計

- 概要欄 公衆の出入りする場所の区分を記載した。
- 公共性・・・公共性のある施設
  - 傷病者・・・傷病者の発生率が高いと予測される施設
  - 不特定・・・不特定多数を収容する施設
  - 大規模・・・大規模集客施設

# バイスタンダーによる目撃のある傷病者に対する 応急手当実施状況等(平成21年中)

図1 バイスタンダーによる  
応急手当実施状況

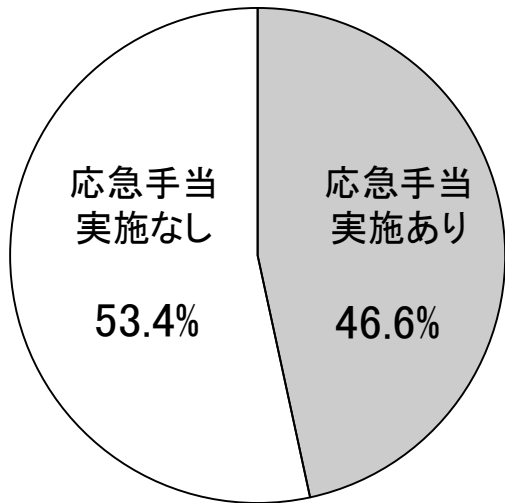


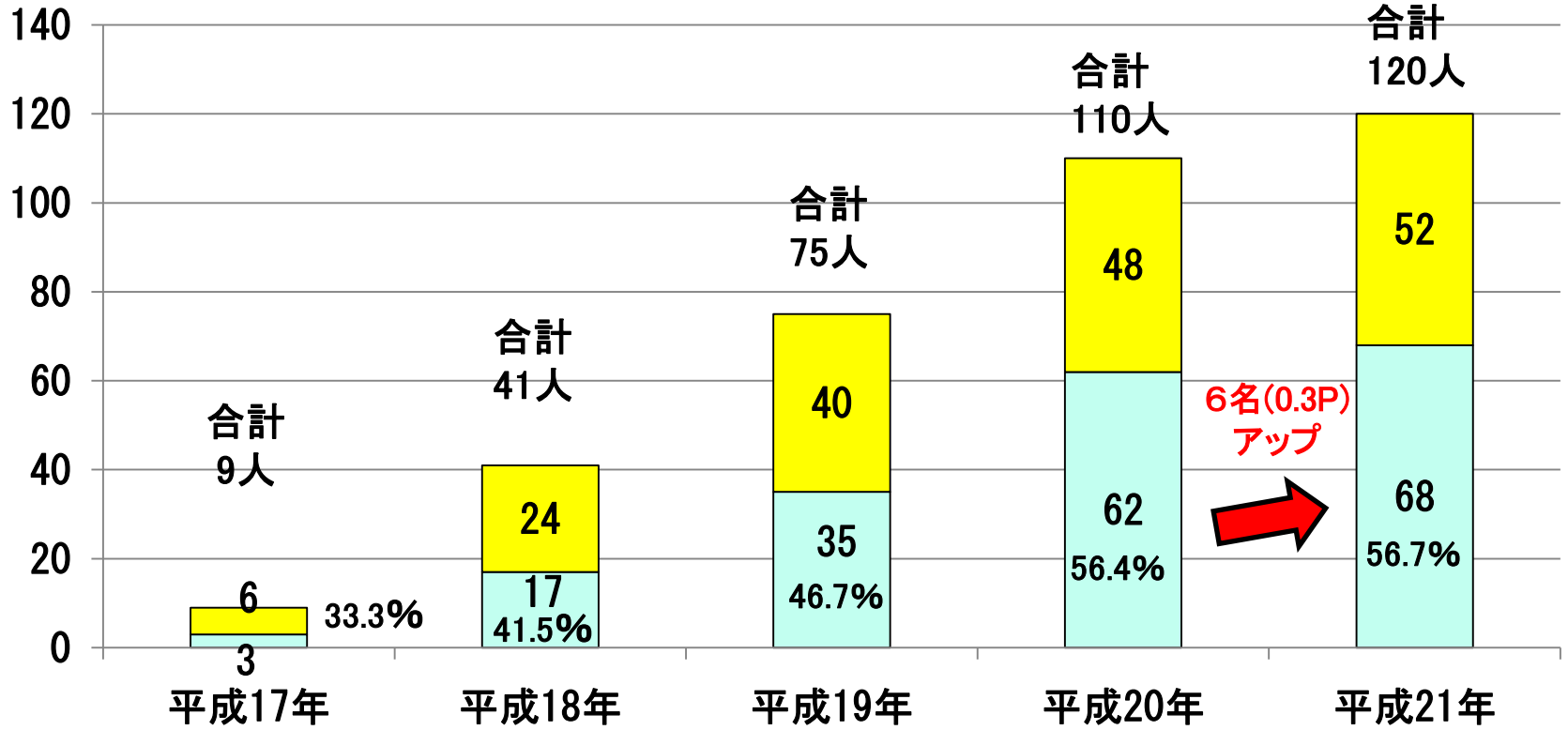
表1 収容前心拍再開・1ヶ月生存状況

|        | 搬送人員  | 収容前心拍再開者数 | 収容前心拍再開率 | 1ヶ月生存者数 | 1ヶ月生存率 |
|--------|-------|-----------|----------|---------|--------|
| 応急手当あり | 1,541 | 289       | 18.8%    | 150     | 9.7%   |
| 応急手当なし | 1,768 | 239       | 13.5%    | 79      | 4.5%   |
| 合計     | 3,309 | 528       | 16.0%    | 229     | 6.9%   |

5.3ポイント      2.2倍



## 都民等によるAEDの救命効果 (医療機関での発生を除く)

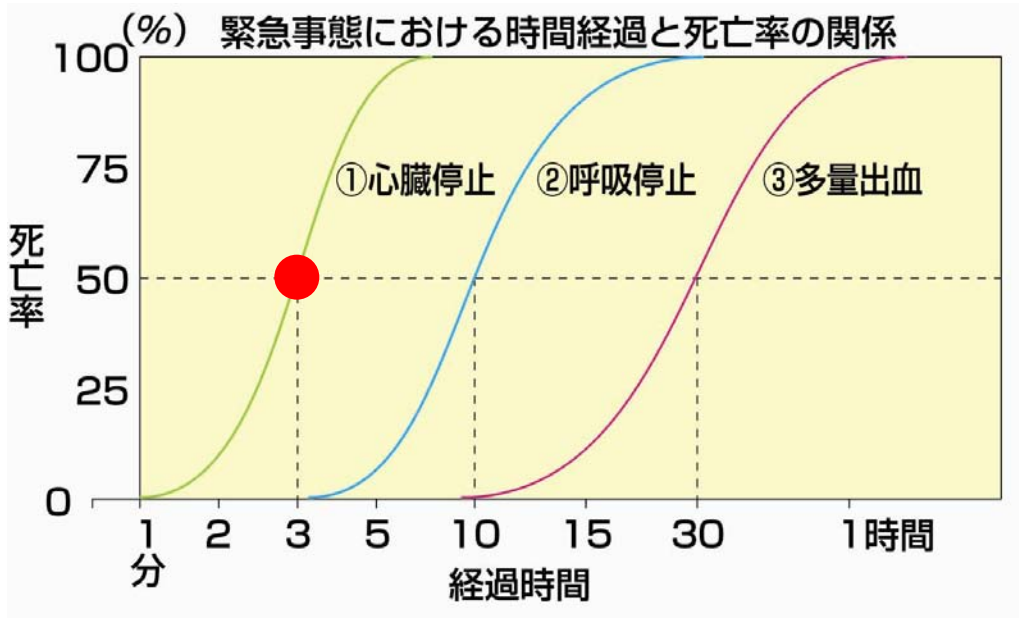
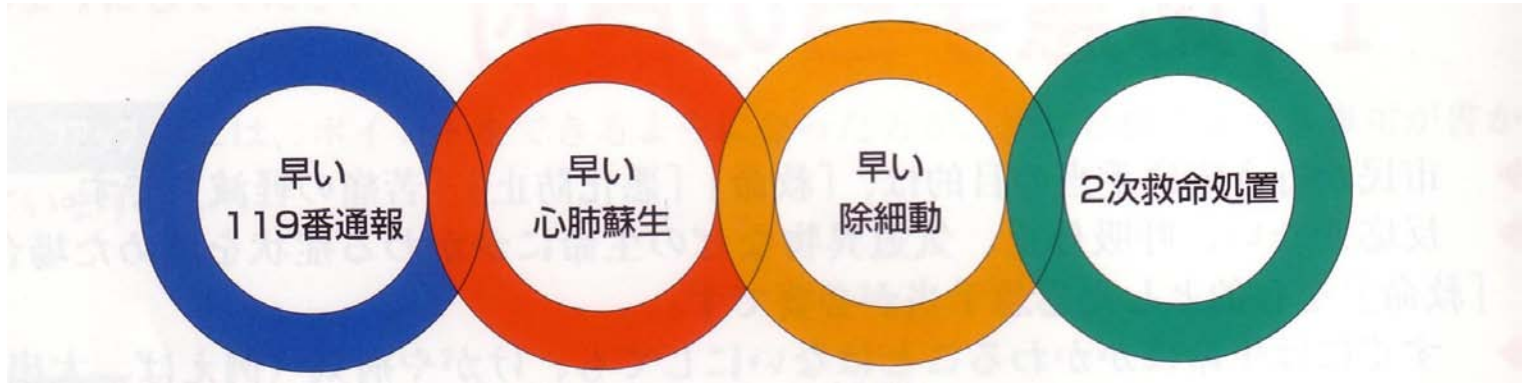


■ 病院に搬送されるまでに自己心拍が回復した傷病者数 (回復率)

■ 病院に搬送されるまでに回復しなかった傷病者数

(速報値)

# 救命の連鎖(チェーン・オブ・サバイバル)の重要性



カーラーの救命曲線



別添え



この笑顔を守ったのは  
応急手当でした。

けがをした人や急病で倒れた人に対して、救急車到着までの間に居合わせた人が  
応急手当をすれば、救命や症状の悪化防止、苦痛の軽減に貢献できます。  
苦しんでいる人を助けるために、  
救命講習で応急手当の正しい知識と技術を身につけましょう。


# 覚えよう 命をつなぐ 応急手当

(平成22年度東京消防庁救急講話) 作成者「塩野 竜司さん、(北区)」


**—9月9日は救急の日—**  
**平成22年度 東京消防庁 救急セミナーのお知らせ**  
 ●日時：平成22年9月9日(木) [午前の部9:15~/午後の部14:00~/]  
 ●場所：東久留米スポーツセンター [東久留米市大門町2-14-37]  
 ●普通救命講習、普通救命再講習、上級救命再講習、スーパーアクトアス、特殊消防車両の展示を行います。ぜひご来場下さい。  
 【問い合わせ先】  
 東京消防庁救急部救急指導課救命普及係  
 代表電話：03-3212-2111(内線4625-4626)



**「あなたの勇気が、命を救う。」**  
**救命講習は 3年ごとに再講習を。**  
 救命講習を修了された方には救命技能認定証が交付されます。東京消防庁では、3年ごとの再講習を助めています。  
 一人でも多くの命を救うため、救命技能認定証の交付年月日を確認して、再講習を受けましょう。



**救急相談センター** 24時間対応 年中無休  
<携帯電話、PHS、フッシュ回線の方>  
**# 7119**  
ダイヤル回線、またはつながらない場合は  
23区 03-3212-2323 多摩地区 042-521-2323  
 「救急車を呼んだほうがいいのかな?」  
 「今すぐ病院へ行ったほうがいいのかな?」など、  
 119番通報をして救急車を要請するかどうか迷った際の相談窓口として、救急相談センターをご利用ください。  
 ■東京消防庁 ■東京都福祉保健局 ■社団法人東京都医師会



**東京消防庁**

詳しくは東京消防庁のホームページをご覧ください。

<http://www.tfd.metro.tokyo.jp>



H22 右図表紙版権を従来よりインキを使用しています。